

平成22年度

富山地区広域圏事務組合

一般会計  
特別会計 決算審査意見書

富山地区広域圏事務組合監査委員

富 広 組 第 4 4 号  
平成 2 3 年 7 月 2 2 日

富山地区広域圏事務組合  
理事長 森 雅 志 様

富山地区広域圏事務組合  
監査委員 石黒 三千治

監査委員 田中 義明

平成 2 2 年度決算審査意見書の提出について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項及び同法第 2 4 1 条第 5 項の規定により、平成 2 2 年度富山地区広域圏事務組合一般会計、特別会計歳入歳出決算並びに証書類、政令で定める書類の審査を行った結果、次のとおり意見書を提出します。

平成22年度 富山地区広域圏事務組合  
一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見書

1. 審査の対象

平成22年度富山地区広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算  
平成22年度富山地区広域圏事務組合清掃事業特別会計歳入歳出決算  
平成22年度富山地区広域圏事務組合廃棄物発電事業特別会計歳入歳出決算  
上記各会計歳入歳出決算に係る証書類、歳入歳出決算事項別明細書、  
収支に関する調書及び財産に関する調書

2. 審査の期日

平成23年7月22日（金）

3. 審査方法

審査は、平成23年7月11日付けをもって、理事長より送付された決算書に基づき、組合議会で議決された科目によって適正に作成されているか否かについて確かめ、会計管理者所管の歳入歳出票との計数照合を行うとともに、証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書の審査を行った。

4. 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書、付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、関係帳簿は、適正に表示されているものと認めた。

## 第1 決算の概要

平成 22 年度の一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入 5,482,428,464 円、歳出 4,903,867,146 円であり、予算現額に対して歳入は 107.8%、歳出は 96.4%である。

また、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は 578,561,318 円であり、翌年度へ繰越となる実質収支も、578,561,318 円である。

(単位：円)

会 計 名		一 般 会 計	清 掃 事 業 特 別 会 計	廃 棄 物 発 電 事 業 特 別 会 計	計
予 算 現 額		86,401,000	4,496,119,000	502,602,000	5,085,122,000
決 算 額	歳 入 A	88,775,127	4,702,552,292	691,101,045	5,482,428,464
	歳 出 B	81,133,027	4,335,580,869	487,153,250	4,903,867,146
形式収支 C (A-B)		7,642,100	366,971,423	203,947,795	578,561,318
翌年度へ繰り越 すべき財源 D		0	0	0	0
実質収支 (C-D)		7,642,100	366,971,423	203,947,795	578,561,318

## 第2 一般会計

### 1 歳入

平成22年度の決算額は88,775,127円で、予算現額に対して102.7%となっており、その内訳は次のとおりである。

#### (1) 分担金及び負担金

分担金及び負担金の決算額79,508,000円は、組合運営費負担金33,830,000円、保健衛生費負担金31,649,000円、スポーツ施設費負担金14,029,000円である。

#### (2) 使用料及び手数料

使用料及び手数料の決算額4,500円は、敷地内占用料である。

#### (3) 県支出金

県支出金の決算額2,905,000円は、病院群輪番制運営事業補助金である。

#### (4) 財産収入

財産収入の決算額366,436円は、財政調整基金（平成22.3.31現在55,324,368円）の一時運用利子である。

#### (5) 諸収入

諸収入の決算額234,027円は、預金利子27円、全国市有物件災害共済会からの共済金189,000円、地方公務員災害補償基金助成金45,000円である。

#### (6) 繰越金

繰越金の決算額5,757,164円は、平成21年度より繰越したものである。

## 2 歳 出

平成 22 年度の決算額は 81,133,027 円で、予算現額に対して 93.9%となっており、その内訳は次のとおりである。

### (1) 議会費

議会費の決算額 1,229,523 円は、予算額 1,511,000 円に対し 81.4%の執行率である。

これは、主に報酬 428,000 円、旅費 49,500 円、需用費 56,023 円、委託料 646,000 円であり、不用額は 281,477 円である。

### (2) 事務局費

事務局費の決算額 31,288,594 円は、予算額 34,824,000 円に対し 89.8%の執行率である。

これは、主に人件費（給料、職員手当等、共済費）23,681,955 円、旅費 63,540 円、需用費 823,615 円、役務費 382,044 円、委託料 2,462,349 円、使用料及び賃借料 1,513,092 円、負担金補助及び交付金 1,686,863 円、積立金 366,436 円であり、不用額は 3,535,406 円である。

### (3) 衛生費

衛生費の決算額 34,866,432 円は、予算額 35,037,000 円に対し 99.5%の執行率である。

これは、病院群輪番制実施病院に対する補助金であり、不用額は 170,568 円である。

〔富山市民病院・富山赤十字病院・済生会富山病院・  
厚生連滑川病院・かみいち総合病院〕

### (4) スポーツ施設費

スポーツ施設費の決算額 13,748,478 円は、予算額 14,029,000 円に対し 98.0%の執行率である。

これは、常願寺ハイツの需用費 756,000 円、役務費 28,794 円、委託料 12,952,964 円であり、不用額は 280,522 円である。

### 第3 清掃事業特別会計

#### 1 歳入

平成22年度の決算額は4,702,552,292円で、予算現額に対して104.6%となっており、その内訳は次のとおりである。

##### (1) 分担金及び負担金

分担金及び負担金の決算額3,094,794,409円は、ごみ処理事業費負担金372,750,000円、ごみ処理施設建設事業費負担金2,061,741,000円、リサイクル事業費負担金637,763,783円、廃棄物発電施設維持管理負担金22,539,626円である。

##### (2) 使用料及び手数料

使用料及び手数料の決算額891,069,195円は、主に民間持ち込み可燃ごみ処理手数料である。

##### (3) 財産収入

財産収入の決算額227,768,274円は、メタル等売払収入31,095,246円、アルミ売払収入23,649,099円、缶・プレス品等売払収入104,515,221円、磁性金属等売払収入63,731,122円、リサイクル品売払収入909,500円、一般廃棄物処理施設整備基金（H22.3.31現在841,306,239円）の一時運用利子3,868,086円である。

##### (4) 諸収入

諸収入の決算額96,356,263円は、預金利子706,573円、ペットボトル有償入札拠出金20,086,911円、再商品化合理化拠出金75,139,152円、全国市有物件災害共済会からの共済金80,112円、雇用保険料等の戻入金270,015円、自転車登録代金73,500円である。

##### (5) 繰越金

繰越金の決算額392,564,151円は、平成21年度より繰越したものである。

## 2 歳 出

平成 22 年度の決算額は 4,335,580,869 円で、予算現額に対して 96.4%となっており、その内訳は次のとおりである。

### (1) ごみ処理事業費

ごみ処理事業費の決算額 1,267,150,724 円は、予算額 1,387,215,000 円に対し 91.3%の執行率である。

これは、主に人件費（給料、職員手当等、共済費、賃金）395,524,816 円、需用費 279,719,574 円、役務費 128,857,855 円、委託料 423,750,797 円、使用料及び賃借料 8,899,302 円、工事請負費 26,689,320 円、負担金補助及び交付金 1,887,800 円、公課費 1,555,500 円であり、不用額は 120,064,276 円である。

### (2) ごみ処理施設建設事業費

ごみ処理施設建設事業の決算額 4,469,719 円は、予算額 7,948,000 円に対し 56.2%の執行率である。

これは、主に需用費 289,496 円、役務費 199,739 円、負担金補助及び交付金 100,000 円、積立金 3,868,086 円であり、不用額は 3,478,281 円である。

### (3) リサイクル事業費

リサイクル事業費の決算額 769,053,388 円は、予算額 801,048,000 円に対し 96.0%の執行率である。

これは、主に人件費（給料、職員手当等、共済費、賃金）127,801,895 円、報償費 199,741,284 円、需用費 125,266,005 円、役務費 61,047,881 円、委託料 245,974,710 円、使用料及び賃借料 2,283,466 円、備品購入費 5,801,013 円であり、不用額は 31,994,612 円である。

### (4) 公債費

公債費の決算額 2,294,907,038 円は、予算額 2,294,908,000 円に対し 100.0%の執行率である。

これは、地方債償還元金 2,119,197,795 円、利子 175,709,243 円であり、不用額は 962 円である。

## 第4 廃棄物発電事業特別会計

### 1 歳入

平成22年度の決算額は691,101,045円で、予算現額に対して137.5%となっており、その内訳は次のとおりである。

#### (1) 分担金及び負担金

分担金及び負担金の決算額271,077,000円は、廃棄物発電施設元利償還負担金である。

#### (2) 財産収入

財産収入の決算額324,688,803円は、電気売払収入である。

#### (3) 繰越金

繰越金の決算額95,335,242円は、平成21年度より繰越したものである。

### 2 歳出

平成22年度の決算額は487,153,250円で、予算現額に対して96.9%となっており、その内訳は次のとおりである。

#### (1) 廃棄物発電事業費

廃棄物発電事業費の決算額216,076,806円は、予算額231,525,000円に対し93.3%の執行率である。

これは、主に人件費（給料、職員手当等、共済費）18,805,849円、需用費31,437,000円、委託料141,161,695円、工事請負費1,345,680円、負担金補助及び交付金22,770,626円であり、不用額は15,448,194円である。

#### (2) 公債費

公債費の決算額271,076,444円は、予算額271,077,000円に対し100%の執行率である。

これは、地方債償還元金249,542,448円、利子21,533,996円であり、不用額は556円である。

## 結 び

平成22年度一般会計及び特別会計について、その内容を審査した結果、計算に誤りなく証書類も整備され、会計経理は正確であることを認めた。また、予算執行の状況についても良好である。

なお、今後とも構成市町村と十分連携を図りながら、廃棄物の適正処理に努め、快適で住みよい圏域づくりに、一層努力されたい。